

平成28年度 社会福祉法人境町社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営部門

(1) 理事会・評議員会・監事の開催

実施期日	会議名	議案事項
H28. 5. 18	監査	平成27年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出決算の監査
H28. 5. 24	理事会	平成27年度社会福祉法人境町社会福祉協議会事業報告並びに収入支出決算について 評議員の選任について
H28. 5. 24	評議員会	平成27年度社会福祉法人境町社会福祉協議会事業報告並びに収入支出決算について 理事及び監事の選任について
H28. 9. 1	理事会	地域福祉活動支援事業助成金交付について（審査）
H28. 12. 27	理事会	専決処分の承認について（平成28年度収入支出補正予算（第1号）） 専決処分の承認について（特定相談支援事業の運営規程について） 平成28年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第2号）案について 社会福祉法人境町社会福祉協議会定款の全部改正について 評議員選任・解任委員会運営細則について
H28. 12. 22	評議員会	専決処分の承認について（平成28年度収入支出補正予算（第1号）） 専決処分の承認について（特定相談支援事業の運営規程について） 平成28年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第2号）案について 理事の選任について 社会福祉法人境町社会福祉協議会定款の全部改正について 評議員選任・解任委員会運営細則について
H29. 3. 17	理事会	平成28年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第3号）案について 平成29年度社会福祉法人境町社会福祉協議会事業計画案並びに収入支出予算案について 経理規程の一部改正について 評議員選任・解任委員の選任について 評議員候補者の推薦について
H29. 3. 17	評議員会	平成28年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第3号）案について 平成29年度社会福祉法人境町社会福祉協議会事業計画案並びに収入支出予算案について 経理規程の一部改正について

(2) 役員研修

期 日 10月19日(水)～20日(木)
研 修 先 特定非営利活動法人かんむら
内 容 年齢や障害の有無に関わらず、同一施設内で福祉サービスの提供を行うことにより、地域共生社会を目指している多機能型「富山型デイサービス」の運営について
参加人数 27名

(3) 社協会員の募集強化

自主財源確保のため、一般・特別会費等の徴収に努めた。

会 費 種 別	件 数	金 額
普通会費	5,717	2,858,500
特別会費	109	183,500
法人・福社会費	694	3,604,000
特別法人・特別福社会費	18	540,000
合 計	6,538	7,186,000

(4) 会館の運営管理

各福祉団体の活動の場として利用できるよう、施設の運営管理に努めた。

利 用 団 体	件 数	利用人数
ボランティア、各福祉団体等	58	922

(5) 福祉バスの運営・維持管理

安全に快適に利用できるよう、整備・安全運転・維持管理に努め、住民の福祉とサービス向上に努めた。

バ ス	延 回 数	延 人 数
福 祉 バ ス	136	4,561
ふれあいバス	89	2,533

(6) 広報事業

「社協だより」を隔月に発行し、全戸配布することにより社会福祉協議会の活動内容の周知に努めた。またホームページやフェイスブックを随時更新し、住民への情報発信に努めた。

(7) 社会福祉功労者の推薦(第66回茨城県社会福祉大会)

期 日 10月28日(金)
会 場 茨城県立県民文化センター
表 彰 者 県知事表彰 3名
県社協会長表彰 4名

2. 地域福祉活動推進部門

(1) 共同募金運動の推進

区長会や各団体・学校・職域など、多くの関係者の協力により実績を収めた。

①赤い羽根募金 実績額 3,093,018円

募 金 別	募 金 額	募 金 別	募 金 額
戸別募金	2,246,400	大口募金	467,000
学校募金	223,359	自動販売機募金	9,982
職域募金	57,915	募金箱	14,709
イベント募金	35,489	その他	147
個人募金	38,017		

②歳末助け合い募金 実績額 1,977,974円

募 金 別	募 金 額	募 金 別	募 金 額
戸別募金	1,689,400	昨年度剰余金	159,885
団体募金	128,656	その他	33

③歳末たすけあい配分事業

(ア) 歳末たすけあい見舞金給付事業

支援を必要としている世帯へ、歳末見舞金及びお米の配分を行った。

該当世帯 101世帯

見舞金額 1,295,000円

【内訳】 世帯割：10,000円 101世帯

家族割：5,000円 57人

お米 1世帯当たり 10kg～50kg

(境町生産組織運営協議会、茨城県農業機械士協議会境支部、新菱農機より55袋寄付)

(イ) 歳末地域福祉事業

○親子で楽しめる「歌う海賊団ッ！！ファミリーコンサート」の開催

日 時 12月3日(土)

場 所 境町中央公民館

来場者数 250人

○障害者・子育て支援団体主催の年末年始事業への助成を実施

申請団体数 4団体

助成金額 200,000円(1団体 50,000円)

(2) ボランティアセンターの運営

①ボランティアコーディネート事業(相談、調整、登録、紹介)

相談依頼件数 19件

内 容	件 数
境特別支援学校行事	3
社協行事	4
老人クラブ行事	5
町行事	1
小学校福祉体験	6

②ボランティアセンター広報紙「ボランテ」の発行

発行日	第10号	7月31日
	第11号	11月30日
	第12号	3月31日

③ボランティア養成研修事業

講座名	開催日	内容	受講者数
認知症サポーター養成講座	7月4日	認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るサポーターの養成	18名
認知症疾患センターについて	7月25日	「認知症疾患医療センター」の活動や利用方法、認知症の早期発見・早期治療の大切さについて	19名
傾聴ボランティア養成講座	10月3日	傾聴の基本技術の習得	7名
	10月4日	傾聴技術の習得	7名
災害ボランティア講座	12月6日 (午前の部)	災害ボランティア活動の心得や心構え、役割について	19名
	12月6日 (午後の部)	災害が起こった時に自身ができる支援について	14名
「メイクとハンドケア」ボランティア養成講座	2月21日	メーキャップの基礎及びハンドマッサージの基本	12名

(3) 児童福祉の推進

① “子どものときから福祉の目を” をスローガンのもとに、児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校に全小・中学校を指定し、助成と情報提供を行い福祉教育の推進に努めた。

② 小学校からの依頼により、ボランティアや職員が講師となり、手話・点字・車いす体験等の福祉体験の実施や福祉機器の貸出し等を行い、福祉への関心・理解の周知に努めた。

実施日	学校名	内容
4月20日	長田小	「福祉って何だろ？」講話
7月4日	長田小	点字体験・手話体験
9月15日	静小	手話体験
10月21日	境小	点字体験・手話体験
11月4日	猿島小	点字体験
11月8日	猿島小	手話体験
11月21日	猿島小	アイマスク・車いす体験
2月28日	静小	社会福祉会館見学・整理ボランティア体験

③子ども福祉チャレンジ教室の開催

実施日	内 容	参加人数
7月26日	点字・手話体験	19
8月9日	幸和義肢研究所・サイバーダインロボット見学	20

(4) 高齢者福祉の推進

①老人クラブ連合会への活動支援に努めた。

②ゲートボール大会やペタンク大会・グラウンドゴルフ大会等の支援をし、スポーツの振興・普及に努めた。介護予防体操やウォーキングを実施し、高齢者の健康づくりや生きがい対策に努めた。

③健康づくり仲間づくりを目的としたシニアカレッジの実施。

	実施日	内 容	参加人数
歴史散策	7月14日	土浦歴史博物館・亀城公園他	36
	11月28日	松戸市 東漸寺・大谷口歴史公園・本戸寺	38
	12月2日	松戸市 東漸寺・大谷口歴史公園・本戸寺	38
	2月14日	真壁のひなまつり	35
ハイキング	6月17日	菖蒲沢薬師古道	35
	12月1日	唐沢山	36
	3月29日	みかも山	37

④境町いきいき福祉大会の開催

期 日 9月18日(日)

場 所 境町中央公民館

内 容 社会福祉功労者への表彰

老人クラブ連合会の活動状況報告

お楽しみ抽選会

「毒蝮三太夫・さこみちよ」のトーク&バラエティーショー

「松平健と橋本町長」とのかけ合いトークショー&歌謡ショー

来場者数 650名

(5) 障害者福祉の推進

①第31回障害者と健常者の交流会の実施

期 日 10月6日(木)

内 容 原田農園りんご狩り

参加人数 23名

②県立境特別支援学校の行事等への協力に努めた。

(6) 母子寡婦・父子福祉の推進

①小学校入学児童お祝いの集いの開催

期 日 3月5日(日)
対象児童数 18名
内 容 朗読ボランティアによる交通安全教室
入学祝い品(図書カード)の贈呈式及びバルーンアートショー
参加人数 42名

(7) 啓発事業

①第22回福祉映画会の開催

期 日 1月29日(日)
内 容 「大家族石田さんちのおかあちゃん」講演会
講師：石田千恵子
「はなちゃんのみそ汁」映画上映
会場ロビーにて、町内や近隣福祉施設の利用者の作品を展示販売
来場人数 約450人

②国際福祉機器展見学会の実施

期 日 10月13日(木)
場 所 東京ビッグサイト
参加人数 20名

(8) サロン事業の推進

誰もが気軽に集える地域の交流の場や居場所としてのサロンを展開。特技や豊かな経験・知識を持つ人材の活用により、生きがいに繋がるサロンの実施に努めた。

開催日	内 容	参加人数
4月5日	権現堂公園見学	43
5月18日	絵手紙作成	25
6月15日	認知症予防について	34
7月20日	シルバーリハビリ体操	41
9月21日	アコーディオンとハーモニカ演奏&歌	37
10月19日	紙花作り	32
11月16日	坂東市郷土館ミュージアム見学	23
12月21日	クリスマス会	42
1月18日	クイズ大会	32
2月15日	ヤクルト健康講話	33
3月15日	絵手紙作成	21

子育てサロン「はびいく」

開催日	内 容	参加人数
6月26日	こみやんのブリーフセラピー 大人のための読み聞かせ	31

開催日	内 容	参加人数
1月 9日	子どもの絵にみる色彩心理セミナー 大人のための読み聞かせ マジックショー	13

(9) 地域の助け合い活動推進セミナーの開催

期 日 2月7日(火)
内 容 「地域住民が主体となった助け合い・支え合う体制づくりに向けて」
参加者数 97名

(10) 購入支援事業

(ア) 紙おむつ購入支援事業

在宅介護を受けている方で要介護4、5の方を対象に、家族介護支援として紙おむつの購入費の一部(3,000円)を助成した。

申請者数 53名 助成金額 153,000円

(イ) 入学準備支援事業

小学校、中学校への入学を控えたお子さんのいる世帯に対し、入学準備に必要な物品購入費の一部(3,000円)を助成した。

申請者数 334名 助成金額 921,000円

(11) 地域活動団体への支援

地域福祉に寄与する事業を行う団体へ助成を行い、地域福祉の推進に努めた。

助成団体数 12団体

(12) 実習生の受け入れ

高校・専門学校・大学生等の資格取得のための実習生の受け入れをし、人材養成の支援に努めた。

古河第二高等学校 受入延人数 15名

3. 福祉サービス利用支援部門

(1) 相談事業

町民の生活上の悩みごと・心配ごとについて毎週火曜日に心配ごと相談所を開設し、問題解決への方向性を助言・指導した。

開設日数 50日 相談件数 10件

(2) 子育てサポーター派遣事業

①仕事や急用等の際に子供を見てほしい等子育てに関する様々な支援を受けたい人(利用会員)と地域の子育てを援助できる人(協力会員)をコーディネートし、身体的・精神的負担の軽減を図り、安全に安心して子育てができる支援活動の推進に努めた。

会員数 ・利用会員 44名 ・協力会員 18名

サービス内容	利用者数	利用延回数
・子供の習い事等の送迎	7	337
・学童の迎え及び帰宅後の預かり	1	45
・学童から自宅等への送り	1	55
・学童への迎え及び託児所への送り	1	42
・保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	2	90
・保護者等の求職活動中の援助	2	2
・保護者の家事中の預かり	1	17

②子育てサポーター講習会の実施

日 時 3月6日(月)
 内 容 乳幼児の救急救命方法について
 参加人数 12名

(3) 地域ケアシステム推進事業

高齢者や障害者が、住みなれた家庭や地域で、安心して暮らせるよう、地域社会において福祉・保健・医療関係者で「在宅ケアチーム」を組み、要援護者一人ひとりのニーズにあった総合的かつ着実なサービスを提供できるよう努めた。

(4) 配食サービス事業

ボランティアの協力を得て、ひとり暮らしや高齢者世帯等に毎週金曜日(月4回)にお弁当を届けることにより、食生活の安定と健康維持を図り、安否の確認と支え合いながら住みよい地域づくりの推進に努めた。

実施日数 47回 延べ食数 2,556食

(5) 生活福祉資金・総合支援資金等貸付事業

低所得者・障害者・高齢者世帯等に対し、貸付相談等を通じて経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉及び社会参加、安定した生活に向けての支援をした。

相談件数 9件
 利用件数 2件
 貸付総額 178,000円

(6) 日常生活自立支援事業

認知症の高齢者や知的または精神的に障害のある方など判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して、生活支援員と専門員が福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行い、日常生活を支援した。

	利用者数	支援延回数
認知症高齢者等	10	144
知的障害者	3	29
精神障害者	3	76
その他	3	73
合計	19	322

(7) 善意銀行の運営

①善意をもって寄せられた預託金・預託品の受託並びに払い出しを行った。

金 銭				物 品	
預 託		払 出		預託件数	払出件数
件 数	金 額	件 数	金 額		
50	138,603	27	435,874	162	18

②緊急つなぎ資金の貸付けをし、生活支援を行った。

貸付延べ件数	貸付金額	償還延べ件数	償還金額
22件	408,000円	47件	322,000円

③福祉機器の無料貸し出しを行い、身体機能維持向上や介護負担軽減に努めた。

種 別	保有台数	貸出延台数
車 い す	24	24
特 殊 寝 台	11	11
エ ア マ ッ ト	2	1
歩 行 器	6	1
盲 人 用 杖	3	0
四 点 杖	3	0

4. 在宅福祉サービス部門

(1) 介護保険並びに障害サービスを利用する介護の必要な方や家族の要望を尊重し、心身の状態や家族の状況に考慮しながら、適切なサービスが提供できるよう努めた。

事 業 名	利用延人数	利用延回数
通所介護事業	592	5,577
訪問介護事業	371	4,337
居宅介護事業	1,270	
障害者福祉サービス	53	719

(2) 障害者移動支援事業

屋外での移動に困難がある障害者が、外出の際支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促すことができた。

利用実人数 4名 利用延回数 67回

(3) 特定相談支援事業

在宅の身体障害者、知的障害者、精神障害者に対して利用者家族の意向を踏まえ、サービス等利用計画を作成し適切な障害福祉サービスが受けられるよう努めた。

利用実人数 7名 延支援回数 19回

(4) 地域活動支援センター事業

在宅の心身障害者のために、社協の送迎車により通所し、日常生活に必要な社会性の訓練・創作的活動や生産活動の場を提供し継続的に行うことにより、社会生活への適応力を

養い障害者の地域生活支援の促進に努めた。

登録者数 9名 延利用者数 1,775名

(5) 軽度生活援助事業

ひとり暮らしや高齢者世帯等に日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続及び要介護状態への進行防止に努めた。

利用実人数 2名 利用延回数 80回

(6) 障害者デイサービス事業

利用実人数 0名

(7) 一般乗用旅客自動車運送事業

通院や施設への移動等、単独では公共交通機関を利用することが困難な者に対し、安全な輸送運行を行い、利用者や家族の負担軽減を行った。

利用延人数 63名

5. その他

(1) 会館維持管理事業

①空調設備設置工事 5,238,000円

②防犯カメラ設置工事 1,144,800円